

斯の如く高嶺峻坂の多きに拘らず、一般良好の道路を通せり。聞く昔、康熙帝西域征討の際、大に道路を改修し、近くは清將左宗棠が回匪討伐の時、更に之を擴築して、爾來毎年十數萬兩の國帑を本道の改修に補助せしが、今は其の事なしと云へり。予は會寧の東方に於て、同縣所屬の兵士數十名の、土橋其他を改修するを見たり。現に路幅の他省國道に比して、廣大なるを見ても、當年兵馬絡繹糧食運搬の如何に盛況なりしかを追想するに足る。

山川到處畫寥寥

獨有垂楊迎我搖

萬里長城歸掌握

將軍聲譽至今饒

即ち路幅は平地に於ては十米突内外、開鑿せる坂路に於ても二米突以上を有し、就中六盤山の如きは、急峻の斜面に、巧妙の設計を施し、迂餘曲折急坂を緩ふす。

又道路の大部分は、谿谷に沿ふか故に、路面は自ら砂礫多く、従うて雨期の交通望み難し殊に會寧以西西鞏に到る間は、河床即ち道路なるか故に陰曆六、七、八、九の四箇月は降雨多き爲め、屢々交通を絶つと云ふ。凹道は至て少く、唯々急坂路に於て往々之あるを見る、六盤山以西の地質は崩壊し易きが爲め、水路ならざるも、突然深